

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	文化財保護事業			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-10-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国指定天然記念物「八島ヶ原高層湿原」ほか指定文化財を適切に保存、管理し、良好な状態で次世代へ継承するとともに、積極的な情報発信を通じて、町民が文化財に親しみ、理解を深める機会を充実させる。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	町指定文化財の件数	指定により保護し、焼失等を防ぐことで維持し続けている指定文化財の件数をカウント	件	目 標	55	55	55
				実 績	55	55	55
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	2,444 千円		4,041 千円		6,414 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.30 人	1,925 千円	0.50 人	3,308 千円	0.50 人	3,292 千円
事業費合計 C (A+B)		4,369 千円		7,349 千円		9,706 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		4,369 千円		7,349 千円		9,706 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない 文化財保護法において、文化財の保存が適切に行われるよう、地方公共団体が努めなければならないとされている。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 指定文化財の所有者は自らが文化財の管理をしているため相応の費用を負担しており、その公開、活用についても協力をいただいている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 県の文化財パトロール、町の文化財現況調査等を通じて定期的に文化財の現状を把握し、修繕等必要な場合は早期に保護措置を図っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B	目標値どおりである 災害や火災等による滅失はなかった。また、新たな指定物件はなかった。

総合評価	現状維持	文化財保護法の趣旨に基づき、文化財の適切な保存管理に努めることを継続する。今年度は、町民はじめ観光客等に下諏訪町の文化財を身近に感じてもらうために史跡めぐりマップを作成し、学校や公共施設などに配布して文化財への理解を深めることを行っている。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の活動			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-12-01・14-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域博物館として、地域住民が地域への理解をさらに深め、地域を自慢に思う心を育み、地域の歴史文化を探求する場として、展示や講座などの事業展開を図る。あわせて、下諏訪町を訪れる観光客の皆さんにもこの地域の魅力を伝え、歴史文化を体感していただくような文化観光に繋げていく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	目 標	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	実 績	5,000	5,000	5,000
				達成率	1,890	2,958	
					37.8%	59.2%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	626 千円		626 千円		1,026 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.30 人	1,925 千円	0.50 人	3,308 千円	0.50 人	3,292 千円
事業費合計 C (A+B)		2,551 千円		3,934 千円		4,318 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円		
		県の負担	千円	千円	千円		
		町の借入	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円		
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円			
一般財源 (町の負担)		2,551 千円		3,934 千円		4,318 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある
達成度	D	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標達成は困難

総合評価	手法改善	今年度はコロナ禍で大きな影響を受けたが、松澤宥展では遠方からの来館者も多く、久しぶりに博物館に賑わいが戻った。今後は、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて多くの方に喜んでもらえる博物館活動の手法を見出し、地域を探求する博物館として新たな取り組みを始めていきたい。
	手法改善の内容	博物館内の展示だけでなく、館外の景観にも目を向け、目の前の風景を味わうような新たな博物館の魅力創出を図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館資料の保存整理			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-16-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例、文化財保護法、町文化財保護条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域に残され、伝えられてきた貴重な文化遺産を広く収集し、整理保存することで次世代へ引き継いでいくとともに、展示や事業等で活用できるよう、調査研究を通じて史料価値を高めていく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	資料整理数	資料カードを起票した数	枚	目 標	350	1,000	1,200
				実 績	1,268	1,398	
達成率	362.3%	139.8%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	87 千円		65 千円		67 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.30 人	1,925 千円	0.50 人	3,308 千円	0.50 人	3,292 千円
事業費合計 C (A+B)		2,012 千円		3,373 千円		3,359 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		2,012 千円	3,373 千円	3,373 千円	3,359 千円	3,359 千円	3,359 千円
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	博物館法の趣旨に沿って行うものであり、専門知識を有する職員が実施する必要がある。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	収集した資料は、整理保存、調査研究を通じて、学校教育や住民の学習、研究者の研究活動に役だてられている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	専門的知識、技術を持つ職員が適切な方法で、費用を抑えながら効率的に資料化している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上 である	係の重点業務として複数の職員で取り組み、目標値を上回ることができた。

総合評価	現状維持	今後も継続して保存整理を進め、博物館資料のデータベースの充実化を図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の維持管理				担当課名	産業振興課	
(予算書コード)	07-01-06-10-01				担当係名	文化遺産活用係	
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何をを行うか)	博物館は資料の収集、保管、展示をする施設であることから、適切な環境下での資料保存が求められているとともに、地域の歴史文化の学習拠点でもあるため、利用者にとっての快適な環境づくりのため施設全体の適切な維持管理を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	目 標	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		維持管理に係る経費であることから、指標設定は困難		実 績			
				達成率			

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算		
事業費	事業費 A	8,244 千円		15,149 千円		8,931 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	0.30 人	1,925 千円	0.50 人	3,308 千円	0.25 人	1,646 千円	
事業費合計 C (A+B)		10,169 千円		18,457 千円		10,577 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		10,169 千円		18,457 千円		10,577 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B	町以外では行えない 地域の文化遺産を収集、保存、展示する施設であること、また博物館法に基づく登録博物館であることから、直営による運営は必須である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 社会教育法に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	B	検討の余地がある 平成5年の竣工後、空調設備を中心に経年劣化が顕著となっており、修繕費用が増加の一途である。また、省エネやバリアフリー等現在求められている建築様式に適合していない。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		施設の日常的な維持管理であり、目標値の設定が困難であるため、指標設定はなじまない。

総合評価	現状維持	不具合箇所の早期改善に努めるとともに、計画的な更新作業を進めていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	宿場街道資料館の維持管理				担当課名	産業振興課		
(予算書コード)	07-01-06-18-01				担当係名	文化遺産活用係		
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託				
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)							
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	明治初頭に建築された歴史的建造物として適切に維持管理するとともに、宿場や街道の歴史文化を学ぶ施設として、利用者が快適に利用できるように維持管理に努める。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	11,000	11,000	11,000
				実 績	8,443	11,319	
達成率	76.8%	102.9%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	630 千円		2,712 千円		1,384 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.20 人	1,283 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)		1,913 千円		4,366 千円		3,030 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		1,913 千円		4,366 千円		3,030 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B	町以外では行えない 地域における歴史文化の学習施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 社会教育法の精神に基き、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 不具合箇所について早期修繕を図ることで歴史的建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B	目標値どおりである 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛、事業の中止等による影響もあったが、感染者が少ない時期に多くの来館者があり目標値通りとなった。

総合評価	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況に即して対応を取りながら、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて事業を展開していく。
	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの目標値を達成したため。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの目標値を達成したため。

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	伏見屋邸の維持管理				担当課名	産業振興課	
(予算書コード)	07-01-06-22-01				担当係名	文化遺産活用係	
事業区分	単年度予算	運営方法	直営	委託			
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国登録有形文化財の建造物を適切に維持、保存し良好な状態で次世代に継承するとともに、文化財の活用とおもてなしによる交流施設として、多くの方に親しまれるよう維持していく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目標	10,000	11,000	11,000
				実績	3,932	5,404	
達成率	39.3%	49.1%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	3,055 千円		3,190 千円		3,300 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.20 人	1,283 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)		4,338 千円		4,844 千円		4,946 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		4,338 千円		4,844 千円		4,946 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	地域と利用者をつなぐ交流施設として、また文化遺産を活用したまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	社会教育法に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は無料である。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	不具合箇所の早期修繕を図ることで国登録有形文化財の建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	D 目標達成は困難	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛、事業の中止等により、来館者数が伸びなかった。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症対策をしながら、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討を進める。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	今井邦子文学館の維持管理			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-06-20-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	江戸時代の面影を残す歴史的建造物として適切に維持管理するとともに、女性だけの短歌結社「明日香社」を創始した今井邦子を語り継いでいく学習施設として、利用者が快適に利用できるように維持管理に努める。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	4,000	4,000	4,000
				実 績	980	1,027	
達成率	24.5%	25.7%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算		
事業費	事業費 A	1,758 千円		2,710 千円		1,944 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	0.20 人	1,283 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円	
事業費合計 C (A+B)		3,041 千円		4,364 千円		3,590 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		3,041 千円		4,364 千円		3,590 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B	町以外では行えない 地域における歴史文化の学習施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 社会教育法に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 不具合箇所について早期修繕を図ることで歴史的建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	D	目標達成は困難 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛、事業の中止等により、来館者数が伸びなかった。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症対策を施しながら、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて、できる範囲で事業を再開していく。
	手法改善の内容	感染対策の徹底、感染状況に応じた企画内容の検討を進める。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	七曜星社蔵の維持管理				担当課名	産業振興課	
(予算書コード)	07-01-06-24-01				担当係名	文化遺産活用係	
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	博物館法、町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	明治期の製糸業興隆の面影を残す歴史的建造物として維持、管理し、良好な状態で次世代へ継承するとともに、まち歩きの休憩施設として親しまれるよう維持していく。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		無人施設であることから利用者を指標とすることができない		目 標			
				実 績			
				達成率			

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	22 千円		21 千円		22 千円	
	うち会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.20 人	1,283 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)		1,305 千円		1,675 千円		1,668 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		1,305 千円		1,675 千円		1,668 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	地域と利用者をつなぐ交流施設として、また文化遺産を活用したまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	社会教育法に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	不具合箇所について早期修繕を図ることで歴史的建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		無人施設の維持管理であり、入館者数等の目標値を設定できないので指標設定になじまない。

総合評価	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症対策をしながら、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて、できる範囲で事業を再開していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	星ヶ塔ミュージアムの維持管理				担当課名	産業振興課	
(予算書コード)	07-01-07-22-01				担当係名	文化遺産活用係	
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	文化財保護法、町埋蔵文化財センター星ヶ塔ミュージアム条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国有林内に所在していることから利活用が制限される国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」のガイダンス施設として、指定管理者と連携し適切な維持管理を図るとともに、埋蔵文化財を通じた下諏訪の歴史を学習できる場として事業展開を図る。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	今昔館の入館者の数をカウント	人	目 標		10,000	13,000
				実 績		9,290	
達成率				92.9%			

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A		千円		3,172 千円		4,362 千円
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	人	0 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)			0 千円		4,826 千円		6,008 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円
		県の負担	千円		千円		千円
		町の借入	千円		千円		千円
		その他	千円		千円		千円
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)			0 千円		4,826 千円		6,008 千円
受益者負担率 (D/C)		#DIV/0!	%		0 %		0 %

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	C 協働を検討 すべき	日常的な運営業務については指定管理制度を導入している。 施設の維持管理、展示等の事業開催については町が直営で実施。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	一体的に運営される「しもすわ今昔館」として入館料を徴収。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	指定管理者と町とで効率的に維持管理、運営している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛、事業の中止等による影響もあったが、感染者が少ない時期に来館者が増加したことや、テレビ番組で星ヶ塔遺跡が紹介され、観光ツアーが実施されたこともありほぼ目標値通りとなった。

総合評価	拡 充	テレビ番組で紹介されたことを契機に、星ヶ塔遺跡への関心が全国的に高まっているので、この機会を捉えて、より多くの方に星ヶ塔遺跡を知っていただくよう積極的な事業展開を図るため、展示の部分的なリニューアルや図録のリニューアルを行っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	令和2年度は観光係が所管

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	星ヶ塔遺跡の管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-14-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」を適切に保存し、良好な状態で次世代に継承していくとともに、随時見学会を開き公開活用する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		国指定文化財の維持保存に係る経費であることから指標設定は困難		目 標			
				実 績			
				達成率			

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	76 千円		149 千円		616 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.25 人	1,604 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)		1,680 千円		1,803 千円		2,262 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		1,680 千円		1,803 千円		2,262 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	A 法律で義務 付けられて いる	文化財保護法による星ヶ塔遺跡の管理団体は町であるため、町が管理しなくてはならない。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	年度当初には予期しなかったが、8月にテレビ番組で星ヶ塔遺跡が紹介されたことを受け遺跡の観光ツアーが始まり、長野県内の広い範囲から多くの方がツアーに参加し、幅広く星ヶ塔遺跡を知っていただくことができた。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	観光係や観光振興局にも協力を得て、効率的に現地の管理を行っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		草刈りや歩道の整備が主な業務内容であることから、目標値の設定が困難であるため、指標設定になじまない。

総合評価	拡 充	テレビ番組で星ヶ塔遺跡が紹介されたことを受けて、注目が集まり、観光振興局による観光ツアーも始まり、大変多くの方が遺跡に訪れるようになったので、より良く保存し、より良く活用するための事業の拡充が必要であるため、今後、遺跡の保存活用計画を策定していく。
	現状維持	テレビの効果で注目が集まり、観光ツアーも始まったために事業の拡充が生じた。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	テレビの効果で注目が集まり、観光ツアーも始まったために事業の拡充が生じた。

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	柿蔭山房公開活用事業			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-16-01			担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	文化財保護法、町文化財保護条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町指定文化財「島木赤彦住居(柿蔭山房)」を適切に維持管理し、良好な状態で次世代に継承するとともに、歴史的建造物を学ぶ施設として、また歌人島木赤彦の業績を伝える学びの施設として公開活用する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	200	150	150
				実 績	91	140	/
達成率	45.5%	93.3%	/				

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	4,073 千円		674 千円		766 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.25 人	1,604 千円	0.25 人	1,654 千円	0.25 人	1,646 千円
事業費合計 C (A+B)		5,677 千円		2,328 千円		2,412 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		5,677 千円		2,328 千円		2,412 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか
公平性	A	適切である 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか
効率性	A	適切である 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか
達成度	B	目標値どおりである 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)

総合評価	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況に即して対応を取りながら、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えて事業を展開していく。
	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの目標値をほぼ達成したため。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの目標値をほぼ達成したため。